

# 「杜の都・仙台」ならではの 味が楽しめるハチミツを 街の新しい魅力として 発信していきます。

仙台ミツバチプロジェクト  
理事長

あべ こうだい  
**阿部 高大** 氏

## プロフィール

仙台一高から慶應義塾高等学校に編入し、慶應義塾大学に進学。卒業後、東急航空に入社。英会話力を買われ、アメリカ駐在員として約7年を過ごす。その間に培った人脈を生かし、帰国後は日本国内初のサファリパーク開園のために動物の輸入に携わる。現在、(株)紅彦会長、サンモール一番町商店街振興組合副理事長を務める。平成22年12月より現職。



## 賛助会員の支えを得て 「街中養蜂」をスタート

「仙台ミツバチプロジェクト」の概要と設立の経緯を教えてください。

街の中でミツバチを飼育する「街中養蜂」をこの一番町で行っています。ミツバチが環境指標生物であることから、街の自然環境を見直すきっかけとして、ここで採蜜したハチミツを「仙台でしか手に入らないもの」として、その価値を仙台の魅力の街づくりを生かしていこうというのが、このプロジェクトの主な目的です。

ミツバチとの出会いは3年ほど前。盛岡で養蜂場を営む藤原さんという方と一緒に、「街中養蜂」の先駆的存在である「銀座ミツバチプロジェクト」を訪ねたことがありました。そこで巣箱の中で隙間なく並んでいるミツバチの背中を、そつとなでさせてもらった時、その温かさにすっかり魅了されてしまったんです。それが養蜂を始めるきっかけになりました。

その後、藤原さんに巣箱のつくり方からミツバチの育て方、採蜜の時期や方法などをご指導いただきながら、現在に至ります。

また私どもの活動は賛助会員という形で「仙ばちファンクラブ」の会員の方々と、日々のミツバチのお世話をお手伝いいただく「養蜂サポーター」の皆さんに支えていただいています。こ

の賛助会員さんたちは、北は北海道から南は九州まで及びます。

## 「創業スクエア」で 事業をフュージョンアップ

設立からおよそ3年が経過するわけですが、現在どれくらいのミツバチを飼育しているのですか。

日本ミツバチの巣箱が4箱、西洋ミツバチの巣箱6箱くらいです。飼育するスペースにも限りがありますので、数が多ければ良いということでもないので、最初は養蜂の知識も乏しかったので、増やし過ぎてしまったのですが、現在はコントロールできるようにになりました。採蜜量も今年くらいからサポーターの方々にお分けしても、十分に余剰が出るほどの量が確保できるようにになりました。

採れたハチミツは、どのように活用しているのですか。

これまで、一番町一丁目にあるウエスティンホテル仙台さんが、同じ一番町のハチミツをホテルのスイーツなどに使いたいと申し出られまして、それからホテルオリジナルのどら焼きやマドレーヌなどの材料として、使っています。

また、私たちは地元である仙台の魅



養蜂講座研修会の様子。巣箱を内見しミツバチの成長を確認。

力アップの一翼を担いたいと思っておりますので、ハチミツを他県の企業さんにはお譲りしていませんが、売り上げの一部を震災復興のために寄付してくださるということで、東京の有名なシヨコレティエ（チヨコレート菓子職人）の方に使っていただいたことでもあります。今年は採蜜量も安定してきましたので、これからはもっと積極的に自慢のハチミツをPRしていきたいと思っております。そのために現在、東北の起業や創業を支援する拠点である「創業スクエア」のサポートを受けて、この街の新たな観光資源となるべく、様々な準備を重ねており、ロゴマークを作成するなど、しっかりとしたブランディングを行っているところです。

### 地元商店街・企業と連携 街の新しい魅力に

「仙台ミツバチプロジェクト」のハチミツの味の特徴を教えてください。

全国には国内はもとより、世界中からハチミツを取り寄せ、味の違いを楽しんでいる方が案外多くいらっしゃるんです。その方々に味見していただくと、皆さん口をそろえて「杜の都・仙台らしい味がする」とおっしゃいますし、私自身も清々しい味わいにびっくりな表現だと思っています。また蜂の行動半径は日本ミツバチが2km、西洋ミツバチが4kmほどなので、集めてくる花の種類も異なります。季節によって咲く花も異なりますので、その時々で自ずとハチミツの味にも差が出てくるんです。ですから「この時期に仙台でしか味わえないハチミツ」という点に価値を見いだしていただけるようなPRの仕方を、これからじっくり考えていきたいと思います。

— 今後の抱負をお聞かせください。

できれば、ミツバチの攻撃性だけに着目するのではなく、多彩な特性を市民の皆さんに理解していただきたいと思っています。

私はサンモール一番町商店街振興組合の副理事長も仰せつかっていますので、商店街の皆さんと一緒にハチミツ

#### 【概要】

#### 仙台ミツバチプロジェクト

設立：平成22年 12月

代表者：理事長 阿部 高大

所在地：仙台市青葉区一番町2丁目5-5

一番町中央ビル 屋上ペントハウス

TEL.080-3363-8338

事業内容：ミツバチの飼育を通して屋上緑化を提唱し、ミツバチが環境指標生物であることから、街の自然環境を見直すきっかけとして地域の理解を深め、街の魅力づくりの一端を担います。

ホームページ <http://sen-pachi.jp>

を使った商品の開発などができればうれいですがね。商店街の皆さんだけでなく、地元企業、特に食品関係の方々にもぜひ、このハチミツを原料とした商品をつくっていただきたいと考えています。

震災時、巣箱が倒れて一度は外に飛び出してしまったミツバチですが、一番町のこのビルの屋上に留まってくれました。そのミツバチたちが集めたハチミツです。このハチミツをお菓子やお料理に使い、販売したいというお店や企業の方がいらっしゃれば、いつでもお問い合わせください。一番町のビルの屋上にあるペントハウスで、ミツバチたちと一緒にお待ちしています。

# 街

やさしい気持で暮らせるように……。

たくさんの方が集まり、働き、笑い、泣き、そして暮らしてゆく空間、『街』…。そこで人々が明るく、健康に、そして何よりやさしい気持で暮らせるように、快適な都市環境をつくって行かなくては…。私たちはそう考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす  
**AOBA 青葉環境保全**

本社／仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)